令和４年度体育祭　部長あいさつ

こんにちは、吹奏楽部部長の　　です。私たち３９期は、「サンキュー学年　いつも心に感謝の気持ちを」という学年目標を大切に、日々生活しています。しかし、私たちの３年間は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、思い描いていた中学校生活とはかけ離れたものでした。

１年生の時は、コロナ禍で、なかなか学校へも行けず、部活動もできなく、我慢する日々でした。２年生になっても、大会などがなくなり、部活ができる時間が少ない中で、先輩方が引退してしまいました。そこで、先輩たちの存在の大きさ、自分たちで部活を引っ張っていくことの難しさを感じました。

３年生になり、行事など初めてのことが多くありましたが、できることが増え、助け合いながらがんばりました。時には、目標にとどかず、くじけそうな時もありましたが、仲間と支え合い、最後までがんばることができました。私たちの３年間は、様々な制限がありましたが、それでも先生方や地域の方、そして保護者の方に支えられました。そのおかげで、充実した学校生活を送ることができました。また、あたりまえだと思っていたことがあたりまえではないと感じられたからこそ、そのありがたみを知り、成長することができました。

これから、私たち３９期は、部活で学んだあきらめない気持ち、仲間と協力をすることの大切さを生かして夢の実現に向けて進んでいきます。後輩のみんなには、うまく指示が出せなかった時もありますが、ついてきてくれてありがとうございました。そして、私たちが受け継いだ伝統をこれからも守ってほしいです。地域のみなさん、これからも在家中学校を支えて下さい。よろしくお願いします。

令和４年１０月２９日　第３９期代表

４０周年記念式典　生徒会長あいさつ

３９期生徒会長の　　です。今日は、在家中生一同で、この４０周年という節目を迎えられることに、とてもうれしく思います。　在家中学校の中には、４０年間で積み上げてきた歴史が、いろいろなところに飾られています。様々な掲示物や、廊下に飾られた歴代の先輩方のトロフィーや賞状、そしてパネルたち。それを日々目にすることで、これまでの先輩方の偉業を感じることができます。そして今、在家中は、新しい一歩を踏み出すために、施設がきれいになったり、新設されたりと、大きな変化をしています。

私は３年前、この在家中学校に入学し、その変化をたくさん感じながら日々を過ごす中で、学校全体を動かすことに魅力を感じて、生徒会にはいりました。そして昨年は生徒会長となり、学校内外での、様々な活動に取り組みました。そして、これまでの先輩方からの伝統を受け継ぎ、これからさらに発展させていくために、先生方のご指導をいただきながら、生徒会、学級委員、執行委員の仲間とともに、頑張ってきました。

１年生のころには、新型コロナウイルス感染症により、僕たちの入学は２か月遅れとなり、あらゆる学校行事もなくなってしまいましたが、執行委員会と協力し、生徒会新聞や、委員長放送など、コロナ禍でもできる新しい取り組みを始めました。その中で、公式マスコットキャラクター「ポーちゃん」が誕生し、在家中学校の新しいシンボルとなりました。２年生では、少しずつ行事が戻ってきましたが、様々な制限があり、生徒の心も離れていました。そこで、もう一度学校全体で盛り上げるための企画を立ち上げました。とくに、東京オリンピックにソフトボール選手として出場し、金メダルを獲得した本校の卒業生、我妻悠香（あがつまはるか）選手を応援するために全校生徒で作った１１００羽の鶴は、全校生徒の心を一つにすることができた企画だったと思います。そして今年は、40 周年絆プロジェクトとして、全校生徒で協力し、エコキャップアートを作成しました。

私たちの取り組みや作品の一つ一つは、生徒が主体的な活動から生まれたものですが、先生方、保護者、地域の方々をはじめ、様々な方々の支えなしでは成り立ちません。いつも暖かく私たちを見守ってくださり、ありがとうございます。そして、これまでと変わらぬご指導、ご協力を、よろしくお願いします。今日という日が、在家中学校の歴史の１ページとして刻まれ、ポーちゃんとともに、在家中学校が、いつまでも私たちの誇れる学校として、さらに発展していくことを期待しています。

令和４年１１月５日　生徒代表　第３９期生徒会長